

## 中学部 国語科 B グループ 学習指導案

学習指導者 松本 裕美(T1)

江淵健太郎(T2)

- 1 日 時 令和2年7月7日(火) 第2校時
- 2 場 所 中学部3組
- 3 題 材 様子を表す言葉を考えよう～ようするに、便利なんです～

### 4 題材について

- (1) 様子を表す言葉は、一言で状況を言い表すことができるのでとても便利ではある半面、「てきばき」「ちょっと」などといった言葉は物事の強弱や長短の度合いを表すのが曖昧で場面によっては微妙な意味の違いも生じる。生徒たちにとって、曖昧な言葉でその状況に応じて判断して行動したり、話したりすることはとても難しいが、相手が話している言葉の程度を理解して受け答えしたり、行動したりすることは、普段の学校生活だけでなく校外での活動や日常生活においても適切に判断して行動することにつながると考える。本題材の「様子を表す言葉を考えよう」は、言葉が表現している場面を選択したり、様々な場面で使われる様子を表す言葉を動作化したりして言葉が表現している意味を体得し、適切に聞き取って行動することをねらいとしている。曖昧な意味を含んだ様子を表す言葉を理解することで、指示どおりに行動することができたり、より具体的に相手に伝えたりすることができるよさがある。これは、中学部の育てたい力「他者の思いや考えを聞き、応対する力」と一致しており、日常生活の中で他者とのコミュニケーションを豊かにし、より良い人間関係を築くことができると期待される。以上のことから、本題材を設定した。
- (2) 本グループは男子3名(1～3年生各1名)、女子2名(3年生2名)計5名で構成されている。指導者からの指示を聞いて課題を達成しようとしたり、自分の考えを伝えようとしたりする気持ちが強い生徒が多く、意欲的に学習活動に取り組んでいる。昨年度、オノマトペの学習に取り組んだ3年生3名は、朝の会の手伝い発表で「トイレをゴシゴシと磨きました」などと、様子を表す言葉を加えて発表できるようになっている。また、「お腹がペコペコです」と会話の中で表現できつつある生徒が1名いる。強弱や長短を表現する度合いが曖昧な言葉を聞いて適切に行動することはほとんどの生徒が難しく、具体的な指示を聞いて行動することが多い。理解できている語彙量の差が大きく、初めて見聞きする言葉に抵抗があり、動作化することに消極的な生徒が2名いるなど、実態は様々でそれぞれに合った支援が必要である。
- (3) 指導に当たっては、授業の流れを「できているのはどっち?」「様子の言葉を考えよう」「発表してやってみよう」で構成し一定にすることで活動に見通しがもてるようにする。第1次に様子を表す言葉を使った指示と、使っていない指示を聞き比べて動作化する活動を行うことで、様子を表す言葉の便利さを実感できるようにする。「できているのはどっち?」では、様子を表す言葉を含んだ例文と、それをT1とT2が動作化している動画を提示し、どちらができているのか判断する活動を取り入れることで、言葉が表現している動きを理解できるようにする。「様子の言葉を考えよう」では、日常生活の中でよくある動作を取り上げ、写真で提示し、どのように動くのか考えて様子を表す言葉を短冊に記入する活動を取り入れることで表現力を高めることにつなげたい。言葉を考えるのが難しい生徒には幾つかの言葉を提示し選択できるようにする。「発表してやってみよう」では、自分が考えた言葉を全体場で発表し、その言葉が表現する様子をイメージしながら動作化する活動を取り入れる。生徒から出てくる言葉と動作の違いは、動作から出る音であったり、力加減の強弱や長短であったりすると考えられるが、比較する視点をポイントとして声掛けすることで、言葉と動きの違いを互いの動作を見て判断できるようにしたい。様子を表す言葉が表現する意味を動作化することで体感したり、友達の動きを見て違いを発見したりして新しく触れる言葉にも抵抗なく学習に取り組めるようする。

## 5 目 標

- ・場面に合う様子を表す言葉を考えたり、言葉を聞いて動作化したりすることで、様子を表す言葉の意味や使い方を理解することができる。

## 6 学習指導計画(全 10 時間)

- 第 1 次 様子を表す言葉ってどんな言葉かな・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間  
 第 2 次 様子を表す言葉を集めてやってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 時間(本時 7/8)  
 第 3 次 様子を表す言葉を使ってジェスチャーゲームをしよう・・・・・・ 1 時間

## 7 本時の学習指導

### (1) 目 標

- ・写真を見てその様子(動き)を表す言葉を考えたり、様子を表す言葉が表現している強弱から判断して言葉に合った動作をしたりすることで、様子を表す言葉を理解することができる。

### (2) 準備物

テレビ、ホワイトボード、掲示用短冊、ワークシート、ホワイトボードマーカー、指示棒  
 ゴムボール(5 個)、

### (3) 学習指導過程

学 習 活 動	活動機会・支援活動・授業展開の工夫
1 本時の学習を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって活動に取り組めるように、スケジュールをホワイトボードに提示しておく。</li> <li>・様子を表す言葉を考える際のポイントをプレゼンテーションで提示し、ポイントを意識しながら言葉を考えられるようにする。</li> <li>・様子を表す言葉は同じ動作を形容していても、少しずつ動作が変わることを確認するために、前時に学習した様子を表す言葉について動作化して振り返る活動を設定する。</li> </ul>
2 動画を見て、言葉に対応した動作を選ぶ 「できているのはどっち？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様子を表す言葉に着目できるように、様子を表す言葉を赤枠で囲んだ例文を提示する。</li> <li>・<u>様子を表す言葉の意味を理解することができるように、提示した例文を T1 と T2 が動作化した動画を準備し、T1, T2 のどちらが言葉に合った動きをしていたのか考える場を設定する。</u> K 男には、選んだ理由を発表するよう声掛けをすることで、言葉と動作を対応させて習得できるようにする。</li> <li>・例文の中の様子を表す言葉と類似する言葉をいくつか提示し、ワークシートに記入したり、動作化したりすることで言葉と動作を対応して理解できるようにする。</li> </ul>
3 写真を見て、様子を表す言葉を考える 「様子の言葉を考えよう」 (1)動作に合う言葉を考えて短冊に記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムボールをつかんでいる写真と例文を提示することで、つかむ動作のイメージを促し、ボールをつかむ動作に合う様子を表す言葉を考えられるようにする。</li> <li>・幾つでも言葉を考えて記入できるように短冊を複数枚用意し、生徒が必要に応じて取りに来ることができるようにしておく。</li> <li>・写真だけで言葉を考えることが難しい生徒には、実際につかんで感触や強弱を体感しながら言葉を考えられるようにゴムボールを用意しておく。</li> </ul>

<p>(2) 全体の中で発表し、動作化する 「発表してやってみよう」</p> <p>4 本時の学習活動を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙が少ないB男には、幾つかのつかむ様子を表す言葉カードと写真を用意し、つかみ方に合った言葉を考えられるようにする。</li> <li>・E女、F女には、つかむ様子を表す言葉とそうでない言葉カードを用意することで、動きに合う言葉を選んで短冊に記入できるようにする。</li> <li>・K男には、言葉が表現する意味の度合いを矢印で示したシートを用意し、様子を表す言葉を書いた付箋紙をシート上で動かしながら、言葉が表現する意味の度合いを考えられるようにする。</li> <li>・短冊に記入した言葉を全体の中で発表し、動作化する活動を設定することで、互いの考えを共有できるようにする。</li> <li>・<u>二つの言葉を実際に動作化して、何が違うのか比較する活動を取り入れることで、言葉と動作を対応させることができるようにする。</u>その際、強さや長さなど、言葉を比較する際の観点を示す。</li> <li>・本時の学習活動を振り返って、できたことや分かったことをワークシートに記入する場を設定することで、学習した内容の定着を図る。</li> <li>・様子を表す言葉を考え、動作化することができた生徒に称賛の声掛けをすることで達成感を味わうことができるようにする。</li> <li>・ワークシートに記入した内容を基に、全体の中で発表することで互いに認め合い、次時の学習の意欲を高められるようにする。</li> </ul>
--	--

(4) 評価規準

- ・様子を表す言葉が表現している意味や使い方を知る。(知・技)
- ・動画や写真を見て、動きに合う言葉を考えたり、言葉の違いを考えたりして動作化することができる。(思・判・表)
- ・様子を表す言葉を使うことよさが分かり、進んで言葉を考えたり、言葉に合った動作をしようとしたりすることができる。(主体的に取り組む態度)

資料1 個の実態及び目標

氏名	個の実態	個の目標(評価規準)
B男 (1年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意味を理解している様子を表す言葉の数は少なく動作化することは難しい。</li> <li>・経験の少なさや語彙の少なさから写真を見てその動きに合う様子を表す言葉を考えることが難しい。</li> <li>・体調や言葉の意味理解の程度により、集中力に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様子を表す言葉の意味を理解し、それに合った動作をすることができる。</li> <li>・実際に体感しながら提示された言葉カードの中から動きに合う言葉を考えることができる。</li> <li>・様子を表す言葉の違いに興味をもって、進んで言葉に合った動作をしようとする。</li> </ul>

<p>H 男 (2年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている様子を表す言葉は少ないが、聞いて適切に動作化することができる。</li> <li>・写真や動画を見て、その動きに合う様子を表す言葉を考えることができるが、適切に動作化することが難しい。</li> <li>・日常生活で様子を表す言葉を使って表現することが増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて聞く様子を表す言葉についても指導者の説明を聞いたり、友達の動きを見たりして動作化することができる。</li> <li>・写真を見て、その様子を表す言葉を考えて発表し、言葉をイメージしながら動作化することができる。</li> <li>・様子を表す言葉の意味の違いを考えて意欲的に動作化しようとするすることができる。</li> </ul>
<p>K 男 (3年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様子を表す言葉の意味や働きについて理解しているが初めて見聞きする言葉についてはイメージすることが難しい。</li> <li>・写真や動画を見てその動作に合う様子を表す言葉を考えたり、動作化したりすることができる。</li> <li>・日頃から様子を表す言葉を意欲的に使って発表しているが、使う場面や言葉は限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて聞く言葉でも、写真や動画からイメージして適切に動作化することができる。</li> <li>・幾つかの様子を表す言葉の意味の違いが分かり、その違いを説明することができる。</li> <li>・様子を表す言葉を使うことの良さが分かり、進んで言葉を考えたり動作化しようとしたりすることができる。</li> </ul>
<p>E 女 (3年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様子を表す言葉の意味の違いを捉えて動作化することが難しい。</li> <li>・幾つかの様子を表す言葉の意味の違いを判断して、言葉に合った動作をすることが難しい。</li> <li>・体を動かすことに苦手意識があり、言葉を聞いて動作化することに消極的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の動作を見て、様子を表す言葉の意味の違いが分かり、言葉や動作でその違いを表現することができる。</li> <li>・幾つかの様子を表す言葉から動きに合う言葉を選んだり、友達の動きを見て違いを判断したりすることができる。</li> <li>・様子を表す言葉の意味の違いを理解し積極的に動作化しようとする。</li> </ul>
<p>F 女 (3年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常でよく使う様子を表す言葉は使い方を理解しているが、初めて見聞きする言葉をイメージして動作化することは難しい。</li> <li>・文中の様子を表す言葉を見付けることができるが、写真を見てその動作を表現する言葉を考えることは難しい。</li> <li>・自分がよく知っている様子を表す言葉を聞いて動作化することには意欲的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様子を表す言葉が表現する動きを知り、言葉を聞いて動作化することができる。</li> <li>・幾つかの言葉カードの中から動きを表現する適切な言葉を選び動作化することができる。</li> <li>・学習した新しい言葉を使って進んで動作化しようとするすることができる。</li> </ul>

資料2 座席表

